

第 41 回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会
第 53 回バドミントン大会（団体戦の部）感染症対策等に関する注意事項

令和 3 年 5 月 7 日
新潟県スポーツ少年団バドミントン専門部

本大会は、日本バドミントン協会が令和 2 年 6 月 12 日発出及び令和 3 年 2 月 8 日に発出した第 2 版「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」（第 3 章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）に基づき競技大会を実施します。参加チームの代表・監督・コーチ・父母等保護者は、ガイドライン第 3 章を熟読し競技大会に臨んでください。なお、特に注意する点として、以下のとおり列記しました。

1 感染症対策に関する注意事項

- (1) 当日朝の体温が、選手は 37.5℃、大人は 37.0℃以上で、体調に異変を感じたときには、参加を中止してください。
- (2) 単位団ごとに体育館に入場してください。各単位団の代表者は、別紙「第 41 回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会第 53 回バドミントン大会（団体戦の部）における新型コロナウイルス感染症対策申告書」に必要事項を記入し、受付に提出してください。選手は会場に到着したら、選手受付にて会場に到着したことを報告してください。
なお、保護者・観戦者及び大会運営関係者についても同申告書に必要事項を記入し、それぞれ提出してください。
(提出先：保護者・観戦者⇒受付 大会運営関係者⇒大会本部)
- (3) 受付時には、検温器による体温測定も行いますので、ご協力をお願いいたします。
- (4) 大会会場は、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から入場者の数の制限があります。観覧席の上限の 50%としますので、密解消のため、当日参集のスポーツ少年団登録指導者以外は、参加選手 1 人につき 1 人の保護者等としますが、その上限を 5 人までの入場とします。ご協力をお願いいたします。
なお、一定時刻での換気も求められておりますので、指示によりご協力をお願いいたします。ただし、参加者多数のとき、または、新型コロナウイルス感染状況によっては、保護者等の入場を制限することもあります。
- (5) 開会式は観客席に座ったままで行います。
- (6) 閉会式は行いません。3 位以上の入賞者は、競技終了後、表彰を行いますので、本部にお集まりください。
- (7) 選手は、フロアへの入退場時には、指定された通路を通り、フロアに置いてあるアルコール液により、こまめに手指の消毒を行ってください。
- (8) 観戦は、単位団毎に指定された観客席で行います。他の単位団の観客席には立ち入らないでください。
- (9) プレー以外（待機時や観戦時及び審判団構成時等）は、必ずマスク等を着用してください。
- (10) すべてのごみは持ち帰り、自宅で処分してください。
- (11) 試合結果の掲示場所では、結果はスマホで撮影し観覧席で確認する等、密にならない対応をしてください。
- (12) コーチングは、一定の距離を保った上で行うこととします。大会進行上 2 コート以上で対戦することもあります。所定の場所には 1 コートに 1 人が入ることとします。コーチ席は距

離を開けてバックバウンダリーラインの後ろに設けます。

- (13) プレーヤー又はコーチとの握手やハイタッチは禁止します。
- (14) シューズの裏を手で拭くことはしないでください。各自、コートサイドに滑り止めのシートや濡れ雑巾（ビニールシートを敷くこと）を用意してください。
- (15) 試合中、選手やコーチ及び保護者は、意識的に大声を出さないでください。
- (16) 大会（試合）終了後、退館の際は、自団のいた観客席を必ず除菌消毒してお帰りください。消毒液などは参加単位団で用意願います。
- (17) 大会参加後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに新潟県スポーツ少年団に報告してください。

連絡先

（公財）新潟県スポーツ協会新潟県スポーツ少年団 担当：赤沼

〒950-0933 新潟市中央区清五郎 67 番地 12 デンカビッグスワンスタジアム内

TEL：025-087-8600 FAX：025-287-8601 E-mail：suposyo@niigata-sports.or.jp

休日の緊急連絡先

新潟県スポーツ少年団事務局 赤沼 090-6652-0753

2 競技審判上の注意

- (1) 本大会は、令和 3 年度（公財）日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程に基づき実施します。
- (2) 対戦当該チーム同士で試合のない指導者及び保護者並びに団員（選手）で、審判団（主審（主審は帯同審判員が務めてください）・線審（2 人制）・得点係）を構成してください。必要に応じて、審判員控え席の帯同審判員や主催者サイドで手配した審判員が務めることもあります。なお、サービスジャッジは原則として配置しません。
- (3) 試合が放送によりコールされたら、観客席から指定コートに直接集合してください。
- (4) 試合開始前の公式練習が設定されないときは、マッチ前の練習で、主審の指示により初戦のみ 3 分間パートナーと行います。小学 2 年生以下の団員のときは指導者で行ってもよろしいです。この際のシャトルは、持ち寄りとしたします。開会式前に公式練習が設定されたときはマッチ前の試打は行いません。
- (5) 試合が連続する場合は、原則として、試合終了後、次の試合開始までに 10 分は間隔をあけます。
- (6) 試合開始前および終了後の選手同士の握手や試合終了後の主審との握手は禁止します。但し、相手に誠意をはらって、会釈をすることを心掛けてください。
- (7) 大会進行上、15 点 3 ゲームマッチで実施するマッチもあります。14 点オールとなったときの延長は 21 点までとします。正規ポイントでは競技規則どおりの延長とします。
- (8) 各試合（マッチ）のインターバルは次のとおりです。
 - ① 15 点 3 ゲームマッチにおいては、一方のサイドが 8 点になったとき、及びゲームとゲームの間は、60 秒を超えないインターバルを認めます。インターバル終了 20 秒前にはコートに入ってください。
 - ② 正規ポイントでのマッチでは、競技規則どおりのインターバルになります。インターバル終了 20 秒前にはコートに入ってください。
- (9) インターバル中のアドバイスは、同時に 2 人までコートに入ってもよいですが、主審が「20 秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れ、選手はコートに入ってください。
- (10) 試合（マッチ）中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断

する場合は、必ず主審の許可を得てください。コートサイドにはかごを用意しません。各自ラケットバックに、飲み物など必要な持ち物を収容しコート脇に持ち込んでください。水分補給用の容器は、倒れても中身がこぼれないものを使用してください。ラケットバッグ外のクーラーバック等はソフトタイプとします。氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。ウチワ等をコートサイドに持ち込むことはできますが、コーチ席下においておき、その使用はインターバル中のみ認めます。

- (13) 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。
- (14) シャトルは公認試合球を使用します。シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。使用済みシャトルは、選手が回収袋に入れてください。主審は選手にシャトルを投げて渡します。
- (15) 主審のコールは、ラブオールプレーやインターバル、プレー、ゲーム、マッチ及びフォルト等必要最小限とし、ポイント及び選手名等はコールしません。線審も合図だけで、主審とアイコンタクトをし、コールはしません。
- (16) 主審で用いるエンピツやガバン、消しゴム及びストップウォッチは参加する単位団で用意持参願います。
- (17) 試合中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じて競技役員長(レフェリー)を呼んだ時は、競技役員長(レフェリー)の判断に従ってください。
- (18) 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手及びコーチに限り、試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に座って行い、試合(マッチ)中はコートのそばに立ってはいけません。また、コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
- (19) 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (20) 試合中にモバイル機器(iPad・携帯電話等)を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
- (21) 試合中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央に単位団名(略称でも可)と氏名(フルネームでも可)を明記してください。ゼッケンの大きさは、縦15~20cm、横20~30cmとします。なお、文字の大きさは大会運営規定24条を適用(高さ6cmから10cmを厳守)し、ユニフォームの広告(ロゴ)については、平成21年8月15日付の日本小学生バドミントン連盟文書のとおりとします。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れてください。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れてください。
- (22) 毎試合終了後、当該試合の審判団は、コーチ席と線審席を消毒してください。
- (23) コーチの服装は公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し、体育館シューズで入場してください。
- (24) 大会進行上支障がないときは公式練習を行うときもあります。
- (25) 選手の棄権については、代表者会議で報告してください。
- (26) 個人戦の各地区予選会の結果などの種々情報収集をしますが、各地区の交流を考慮して組み合わせをします。組み合わせについては、大会の主管団体に一任しています。事前の発表もありませんが、予めご了承を願います。

3 一般上の注意事項

- (1) 開場は、午前8時00分です。
- (2) 競技会場では、競技役員（係員）の指示や会場の指示に従い、「外履き」と「内履き」の区別をして、会場の出入口席で必ず履き替えてください。
- (3) 団(クラブ)旗・応援旗等を使用する際には、競技に支障のないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技・大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従ってください。
- (4) 観客席からの大声の助言・指導およびフラッシュ・ストロボを用いての写真撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。また、競技会場内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
- (5) 競技会場の外から持ち込んだゴミは、各自が責任を持って持ち帰ってください。
- (6) 競技中の疾病・傷害については応急処置のみ行いますが、その後は各自で処置を行ってください。なお、本大会では、傷害保険等には入っていません。大会開催要項に記されているとおり、スポーツ安全保険等に必ず加入しておいてください。
- (7) 防犯上、貴重品をはじめ私物の管理は、各自で責任を持って行ってください。
- (8) 競技会場の観覧席から応援する場合、フロアへの落下防止のため、最前列は着席して応援してください。
- (9) 競技会場内の通路等での「素振り」「シャトル打ち」は大変危険ですので、行わないようにしてください。